

広報

ぴっふ

4

April
2018
No.715

新たな旅立ち—
新たな出会い—



平成30年度 町政執行方針

3月5日に招集された第1回町議会定例会で、村中町長と谷教育長から平成30年度に向けた方針が示されたので、その概要をお知らせします。



村中 一徳 町長

現在は、「地方創生」と相反し、「地方消滅」とも言われ、地方創生ができない自治体は、いつか消滅してしまう可能性があります。

人口減少が全国的な課題の中、宅地分譲や民間集合住宅への支援などの取り組みにより、わずかでも人口減少のスピードが鈍化している事実は、これから本町が発展する可能性を表すものだ、前向きに考えています。

産業振興や福祉、教育など、ほぼすべての事業は人口減少対策に関連すると捉えて取り組む必要があります。人口減

少対策は一朝一夕に成し得るものではなく、また、行政だけの力で進むものでもありません。町民・議会・行政が一致一体となった「オール比布」の体制でまちづくりを進めたいと考えます。

本年度は、新しいまちづくり計画の策定の年です。多くの方々からのご提言やご意見が最大限取り入れられるよう、未来に向けた計画づくりに努めています。

これまで、皆様方が大切に引き継いでこられた比布町を消滅させることなく、未来の子ども達にも誇れる比布町と

なるよう、いつまでも安心して、心豊かに幸せだと感じられる比布町を目指したいという思いを込めて、本年度の執行方針とさせていただきます。

地の方！ 大地と人がともに生きるまち

本町農業の水稲は、30年産から米の直接支払交付金が廃止され、国で行われていた米の生産数量目標の配分も廃止となります。本町への影響を考慮し、米価の安定による所



得の確保や経営の安定化を図るため、農業再生協議会主体とする「米生産の目安」の設定は必要と判断しました。産地交付金も継続され、今後は、農協などの生産者団体が需要動向を把握した販売戦略の構築が必要な時代であり、産地間競争の激化も予想されま

す。農協と協議の結果、行政と農協との連携を継続しつつ役割を果たす体制強化が必要です。農業対策室を発展的に解消し、農協職員1名の出向を受け入れ、人材育成と総合的な農業推進策を講じます。

農地流動化対策は、農家戸数が減少する中、規模拡大により必要となる農業機械のリース補助を念頭に、これまでの賃貸に対する支援から、売買に対する支援へと経過措置を講じながらシフトし、農

地改良事業は、生産性向上や作業効率化に必要不可欠な事業です。「中央第1」・「中央第2」・「拓進」の3地区の円滑な事業推進と早期事業完了に向け、引き続き支援対策を講じます。新たな実施地区も、その必要性を調査します。

本年度も次代を担う農業者などと積極的に懇談や情報提供を行うとともに、創造力に満ちた農業担い手育成対策に努めます。新規に就農する青年もスムーズなスタートが図れるよう支援をします。

林業は、施策計画に基づく町有林の整備を進め、民有林についても森林組合と連携を図り、必要な対策を講じます。

近年は、熊の出没が多発し、猟友会との連携をさらに深め、有害鳥獣対策を推進します。また、食害の多いキツネやアライグマ捕獲用の檻を増設します。

商工業は、依然として厳しい状況下にあります。町外大型店や宅配などにより購買力の流出に歯止めがかからず、

加えて後継者不足により、空き店舗も増加の傾向です。事業拡大や新規創業など、意欲ある事業者への支援を継続し、金融機関・郵便局との連携を図り、地方創生に即応できる体制に努めます。さらに

商工会の役割が不可欠なことから、運営支援を継続します。また、多くの事業所で働き手不足が深刻な問題となっています。雇用条件の不一致も要因ですが、各事業所との連携を深め、現状の把握と情報提供の充実を図ります。

消費者保護は、悪徳商法など手法が巧妙、かつ多様な傾向です。引き続き情報提供を行い、注意喚起を図ります。観光事業は、いちご狩りに

ついて苗代補助などの支援を行い、受入れ体制強化の推進に努めます。各種イベントも、

実行委員会の主体性を尊重しつつ、交流人口の拡大に支援します。

グリーンパークは、遊湯びつぷとの連携や相乗効果を最大限發揮し、身近な憩いと交流の場の役割を果たせるよう維持管理に努めます。また、各種大会の円滑な運営と団体等誘致に向け、積極的な営業活動に取り組みます。

指定管理者による運営が7年目に入る「良佳プラザ・遊湯びつぷ」も、価格の手頃感と上品な料理が好評を得ています。さらに管理者のプランを尊重し、連携と情報の共有を深め、利用客の増加を目指します。また、宿泊・宴会に

おける町民利用の一部支援策も引き続き実施し、町民の関心と利用を高めます。

びつぷスキー場は、開業以来、半世紀が経過し、全道一の公営スキー場として発展しました。昨年度は、「センターハウス・スキップ」が営業2年目を迎え、利用者の利便性の向上が拡大し、賑わいを見せ、外国人客も多く訪れるようになりました。家族層をターゲットにしたファミリーパークも年々浸透していますが、

今後も引き続き運営の厳しさが増すものと推測します。今年度は、安全第一の観点から第2リフト安全装置の更新を行い、食事・休憩、レンタル業務には欠かせない雪番屋の屋根・壁の塗装、ホール天井の張替え修繕を行います。

良佳村事業は、多くの利用があるものの収支状況が改善されず、一般財源の充当が増加の傾向にあります。本年度は、第12次まちづくり計画の策定年のため、良佳村の位置付けと方針を再確認し、エリア再整備に向け検証と検討を重ね、まちづくり計画に反映させます。

絆の力！ 互いに支え合えるまち

本格的な超高齢社会の到来で、本町の高齢化率も40%を超え、高齢者生活支援サービスの増加が見込まれます。

町内移送サービス事業「びたく」は、課題を見極めつつ利用対象者の一部拡大を検討し、「門口除雪サービス」も、冬の生活を守る対策として実施します。さらに、配食サービスは、現在の週3回から週



5回に拡充します。

また、高齢者の安全と日常の様子を見守る支援が必要で、地域や関係機関・団体が連携し、見守りネットワークの体制づくりに努めます。新たな生活支援体制や町民主体の組織づくりが求められ、主体的な役割を担う社会福祉協議会の体制強化と生活助け合い協議会「びつぷの和」を支援し、町民自らが描くふれあい活動を推進します。

介護保険では、サービスを受けずに健康で元気に生活することが大切です。「ふまねつと運動」や、健康体操・介護予防教室など、各種事業の充実にも努めます。

介護予防事業は、市街地の空き店舗を改修し、町民の皆様が気軽に集える場を当初は週1回程度開催しま

す。なお、この場合は、住民主体の運営を目指したいと考えています。

認知症施策もオレンジプランに基づき、町民が認知症の理解を深め、早期発見・対応・相談の支援強化に努めます。今後は、適切な介護サービスのあり方を見据え、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

保健事業は、健康意識の高揚と特定健康診査の受診率向上、未受診者の積極的受診勧奨を働きかけ、保健師・栄養士による訪問活動を重点的に取り組み、疾病の早期発見・治療につなげます。

妊婦健診の無料化や乳幼児健診、不妊治療費助成など、母子保健の充実や、「いちごっこヘルスアップ健診事業」を継続実施し、成長期に望ましい健康生活リズム・食習慣を促進し、将来を担う子ども達の健やかな成長を支えます。

「びつぷクリニック」は、本町に欠かすことのできない医療機関です。町の医療提供体制を保持するため、運営支援を図る必要があります。特に、入院病床では、厳しい経営状況ですが、引き続き経営

支援の強化を図り、町民に必要不可欠な施設存続のため、経営改善対策を講じます。また、医療機器も、十分な保守点検を基本とし、経年劣化による更新が必要であり、生命を守る安全な医療提供のためにも適正な導入支援が必要です。今年度は効率的、かつ適切な医療の提供に向け、法令に基づく指定管理者制度の導入に向けて協議を進めます。

本年度も継続して新生児とお母さんへ誕生を祝う記念品をプレゼントします。また、医療費の無料化や各種ワクチン接種費用の一部助成、多子家庭への子どもすこやか手当など、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。

保育支援は、社会福祉法人大悲会「くるみ保育園」との連携のもと、健やかに過ごせる保育環境を提供し、特別支援が必要な乳幼児も、母子通園センターや関係機関との連携を図り、適切に対応します。

母子・乳幼児支援では、「子育て支援センター」を拠点に、常勤の職員を配置し、安らぎの場と充実したサポート体制を構築します。また、NPO法人「ママの働き方応援隊」

本年度は、商工会などの関係機関とも連携を図り、これまで実施した人口ビジョンや高齢者・ウターンアクションでも要望の多い買い物環境の整備に力を尽くします。

簡易水道事業は、施設の適切な維持管理に努め、良質な水道水の安定供給に万全を期すとともに、老朽化している機械設備の更新に向けた基本設計業務を行います。下水道事業も同様に施設の適切な維持管理に努め、今後必要となる施設の効果的、効率的な更新に向けたストックマネジメント計画の策定を進めます。

なお、上下水道事業は、経営戦略に基づき、事業の効率的な運営と経営の安定化に努めます。

環境衛生は、ゴミの減量化や不法投棄の防止を図り、生活環境の保全に努めます。

また、老朽化した火葬場の改築に向け、実施設計業務を行い、建設位置を含め、十分な検討を進めます。

消防行政は、町民の安心・安全を確保するため、関係機関や近隣市町村とも連携し、地域の身近な存在である消防団を中心とした地域防災力の

赤ちゃん先生プロジェクトを通し、母親の社会進出を促すとともに、子育ての素晴らしさや赤ちゃんの癒しを、本町を拠点として発信し、子育て支援策のPRにも努めます。

さらに、結婚などを機に退職し、その後、社会復帰を目指す女性の資格取得に必要な費用の一部を助成する「働く女性応援事業」を立ち上げます。

障がい者福祉は、4町で共同設置する上川中部基幹相談支援センター「きたよん」を拠点に、支援体制の充実やサービスの供給に努めます。

今後も障がいを持つ人が偏見や差別なく主体的に社会参加ができるよう、理解と権利擁護の促進に努めます。

国民健康保険事業は、本年4月から運営主体が北海道に移行されます。円滑な制度運用がされるよう適正な事務に努めます。依然として保険給付費の伸びや加入世帯構成の要因により、財政負担への影響もあります。保健師の訪問活動、医療費高騰の分析や適正化対策に取り組み、健康診査・保健指導、各種検診受診を今後も促進し、医療費抑制に努力します。

強化が図られるよう不足する団員の確保に努め、消防団の強化を進めます。

救急業務は、高規格救急車を更新し、救急資器材の充実強化を図り、迅速な医療機関への搬送やドクターヘリとの連携を行うため、救急隊員の資質向上に努めます。

交通安全は、警察や交通安全指導員と連携し、事故防止に努め、防犯対策も特殊詐欺などの情報収集や事案の提供を行い、被害の未然防止に努めます。

**笑顔の力！
安心・安全に暮らせるまち**

昨年も全国では、台風や大雨による被害が発生し、尊い人命が奪われる悲惨な災害がありました。幸い本町は、大きな被害を受けることが比較的少ない地理的条件にあります。災害発生時の未然防止や被害を最小限とするため、関係機関との連携強化に努め、迅速かつ的確な対応が取れるよう比布町防災計画に基づき、体制整備に努めます。

町道は、引き続き北1線道路の改良工事を進め、路面性状調査の結果を基に、舗装路面の補修工事を年次計画で進めます。また、道路パトロール巡視を適宜行い、町道の適切な維持管理と安全確保に努めます。ガードケープルやスノーボールの補修、道路区画線の再標示など、安全・安心な道路環境の整備を図り、フラーボックスの設置や路面排水の改善、雨水樹の清掃など、景観の配慮にも努めます。

近年、交通量が増加し事故も多発している北5線連絡道路は、道道昇格に向け、引き

続き協議を進めます。

橋梁は、長寿命化修繕計画に基づき、共栄橋の修繕工事を実施し、橋梁の安全対策と長寿命化を進めます。国道39号比布大橋の改築・架替事業は、関係機関に引き続き要望してまいります。本町も、できる限りの支援・協力を行います。

治水対策は、比布川改修工事の事業促進について、引き続き関係機関に要望し、集中豪雨などによる被害の未然防止に向けて、河川的环境整備や道路排水の機能確保に努めます。



除排雪は、国や北海道の関係機関や委託業者と十分連携しながら、迅速で良好な除排雪体制の整備を図り、冬期間の事故の防止と安全

で快適な生活の確保に一層努め、きめ細かな作業体制と効率化に努めます。道道比布停車場線は、冬期間、対向車両のすれ違いなど、大変危険な状況です。排雪作業の実施は、建設管理部と連携し、引き続き町単独でも行います。

町営住宅は、みどり町団地C棟の整備を進め、新たな団地の建設に向けた実施設計業務を進めます。

「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、寿団地の屋上防水工事及び北団地の塗装工事など、既存団地の長寿命化を図り、入居者のニーズやご要望をお伺いし、一層きめ細かな対応に努めます。

宅建協会との連携事業は、29年度に13件の空き家の流動化が図られました。また、新たに実施した民間集合住宅の建設促進補助は、建築された24戸が満室となり、さらに24戸分の補助を補正予算に計上し、現在、建築されています。

こうした取り組みにより、29年度は、転入者と転出者の差は12人の増加となり、本町は、魅力ある町として成長する可能性を感じさせる、大変明るい結果と考えます。



強化が図られるよう不足する団員の確保に努め、消防団の強化を進めます。

救急業務は、高規格救急車を更新し、救急資器材の充実強化を図り、迅速な医療機関への搬送やドクターヘリとの連携を行うため、救急隊員の資質向上に努めます。

交通安全は、警察や交通安全指導員と連携し、事故防止に努め、防犯対策も特殊詐欺などの情報収集や事案の提供を行い、被害の未然防止に努めます。

**心の力！
豊かな心が育つまち**

国は、教育再生を最重要課題の一つと位置づけ、教育再生実行会議での提言を踏まえ、一人ひとりの能力や可能性を最大限に引き出し、多様な個性を伸ばす教育が不可欠です。本町の特性を生かした創意・創造性の豊かな教育活動や子どもが地域の中で健やかに学び、夢をもって成長することができるとともに、多様化する学習ニーズに対応し、生涯現役の実感を持って、自ら学び、

参加できる学習機会を充実させ、町民それぞれが文化・スポーツ活動、学習活動を生涯にわたって楽しめる豊かな社会が実現できるように、総合教育会議で策定した比布町教育大綱を基調に、教育委員会と緊密な連携を図り、本町の教育行政推進に全力で取り組めます。

比布中学校校舎・武道場改築は、30年6月末に竣工予定です。第2学期からの新校舎の使用に向けて、必要な準備を行います。なお、現在の中学校校舎は、危険改築に係る国庫補助金を活用して取り壊し、体育館、給食施設の跡利用は、早急に議論を進めます。

教育行政の主要方針については、教育長の教育行政執行方針で述べられます。

**人の力！
住民のつながりで築くまち**



広報紙は、昨年実施した広報アンケートをもとに掲載方法を工夫し、町民の皆様の視点に立ち、必要な情報をわかりやすく提供します。町民カレンダーや予算概要書も全戸に配付し、大切な防災情報や町のお知らせなどは、防災行政無線によりお知らせします。まちづくり懇談会と町長への手紙も継続して実施し、行政へのご意見やご要望をお伺いするほか、まちづくり出前講座も引き続き開催します。情報収集は、町内外の方からの情報も大切にし、ホームページやフェイスブックなどを活用して、本町の情報や魅力を積極的に発信します。

友好交流提携を結んでいる滋賀県湖南市のほか、東京や札幌、旭川の各同郷会とのふるさと交流も行います。

29年度に若手職員の提案により開始された「ブライダル大作戦」は、9組のカップルの申込みがありました。婚姻届出という人生における大きな記念の場に比布町を選んで

いただき、今後も比布町に来ていただくことを目的としている事業です。申込みいただいた皆様には、引き続き比布町の情報をお届けするなど、繋がりを深めます。

比布町では、29年度に32件のイベントが開催され、カフェの利用も含め、町内外から多くの方々にご来場いただきました。しかし、足の不自由な方にとって活用しにくいというお声もいただいていますので、改善に向けた協議を行います。

北海道日本ハムファイターズの中島卓也選手、上原健太投手が、比布町の応援大使に選ばれました。応援ツアーなど、さまざまな企画を検討し、町民の皆様とともに盛り上げてまいります。

教育行政執行方針



谷 義則 教育長

全国的に人口減少時代を迎えようとする中、ひとつの自治体だけで全ての政策を効果的に実施することは難しい時代です。現在、旭川市を中心として定住自立圏構想の推進に取り組んでいます。各自治体は自分たちの強みを活かしながら、協力し共存することができるよう、新たな連携事業にも協議を行います。

先人の方々、そして、町民の皆様の努力により発展してきた、今日の豊かな比布町を後世に引き継いでいくため、昨今の厳しい経済状況を改革の好機として捉え、積極的な行政改革を進める必要があります。経費節減に向け、環境省関連の助成を受けて公共施設の二酸化炭素排出抑制対策の調査を行い、結果によっては、補正対応により、事業を実施したいと考えます。

また、消費税の増税に向け、公共施設等の使用料や暖房料の引き上げの可否も、庁内で研究を進めたいと考えます。

今までもスリム化を基本に行財政改革が進み、国の制度改革などによる事務量の増加や、専門性も求められ、地方

自治体の責任と負担は増加の傾向にあります。現在は、地方創生政策のもと、さらなる効果的かつ独創的な施策の企画・立案が求められる時代です。職員の育成に努めるとともに、すべての職員が人口減少対策担当者としての認識を持ちながら、「チーム比布」として一丸となり、業務に取り組みます。

現状の職員数は、他町と比較して決して多くない状況です。本年度は4名の職員を採用する予定で、3名の減員となります。係業務の見直しや窓口の一本化などを行い、適切な人員配置に努め、縦横斜めの連携を密にし、役場が町民の皆様の役に立つ場所として機能するよう努めます。

本年の予算規模は、一般会計が45億3,300万円、29年度に比べて4,700万円の減少となります。地方交付税総額は、減少傾向が続き、今後も国の動向に注視する必要があります。さらに、自主財源である町税収入は、評価替えに伴う固定資産税の減収が見込まれるものの、29年度の所得状況を反映して個人町民税に回復傾向が見られるな

ど、当初予算比較における町税収入は、29年度並みとなることが予想されます。

また、税負担の公平性の観点から、適正な課税客体の把握や収納率の向上に向けた取り組みを強化するとともに、滞納額の縮減を図るため、今後上川広域滞納整理機構と連携し、収納体制の向上に努めます。

国が進める経済対策が、必ずしも地方に行き届いていない状況です。どんな小さなことでも改革と進化を繰り返す、これまで、皆様が大切に引き継いでこられた比布町を消滅させることなく、町民の皆様が「住んで良かった」と思えるまちづくりを進めることによつて、「住んでみたい」と思えるまちづくりを町職員とともに目指し、未来の子ども達にも誇れる比布町となるよう、全力を注ぐ所存でございます。

以上申し上げ、町政執行方針といたします。

と教育委員会が相互の連携を図り、町民の信頼に応える教育行政を推進します。

中央小学校では、学校目標「まなびあう子 みとめあう子 きたえあう子」の具現化と比布中学校とともに「生きる力を身につけ 他者と共に よりよく生きる めざす中3」を義務教育9年間の最終目標とします。本年度も「子どもの笑顔があふれる学校」を求め、「自分で伸びる子」を小学校の最終形とし、「当たり前」の事を当たり前にする「どこに出しても恥ずかしくない子」を育てます。

比布中学校では、教育目標を「進んで学ぶ生徒 思いやりにあふれる生徒 たくましく生きる生徒の育成」として、「自ら学ぶ」「よりよく協働する」態度を身につけさせながら、本校の教育目標と「めざす中3」の実現を目指します。

本年度は小中一貫教育に向けたこれまでの実践をより充実させ、生徒にとって「わかる・できる」楽しい授業を目指し、さらなる授業改善に取り組みます。また、生徒一人ひとりが将来の見通しを持つて生き生きと学ぶことができ、一層の充実に努めます。

人口減少や少子高齢化の進行、情報通信技術の急速な発展やグローバル化の進展など、社会が大きく変化・複雑化し、教育課題への対応が求められ、地方創生を実現し本町が持続的に発展するために、地域を支える教育の役割がより重要でです。

国の第3期教育振興基本計画の基本的な考え方や新学習指導要領では、これからの社会に求められる教育を実現するための理念が示されています。これらを踏まえ、学校教育は、第2学期から中学校校舎が小学校校舎に隣接されて

国は生活科や社会科などのかかわりの中で、中学校では学校の学習と社会とを関連づけた職場体験などを通じて、子どもの発達段階に応じた一貫性のある教育に努めます。

また、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助制度や高校生等就学支援金支給制度による援助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

特別支援教育は、各学校のコーディネーター教員を中心とした全校的な協力体制を図るとともに、状況に応じた支援員を適正配置して、学校と家庭・各関係機関が相互に連携を深めながら一貫した指導・支援に取り組めます。

また、教育、保健、福祉などの関係機関で構成する「教育支援委員会」による円滑な異校種間の引き継ぎや発達の遅れなどの早期発見、相談・

研修体制の充実に努めます。

新学習指導要領の移行期間である本年度から、小学校3年生以上の外国語活動が年35単位の授業増となります。小学校共通の外国語・英語科年間指導計画を策定して、継続性・系統性のある外国語活動を進めるとともに、英語指導助手（ALT）の教育活動の充実に図り、外国語によるコミュニケーション能力の向上や異文化への理解を深め、外国語教育の充実とグローバル社会に対応できる能力の育成に努めます。

学校教育

本年度からは小中学校が新学習指導要領の全面实施に向けて円滑に対応できるよう移行期間に入ります。学校と家庭、地域が目標を共有し連携・協働した「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、学校の全体的な在り方を改善してより質の高い教育環境づくりが求められています。

なお、本年4月の児童生徒数と学級編制予定は、中央小学校は11クラス（うち特別支援教室5クラス）、総児童数149名（うち新1年生は28名）です。中学校は6クラス（うち特別支援教室3クラス）総生徒数81名（うち新1年生は25名）の予定です。

全国学力・学習状況調査や各種学力検査などの結果・分析を踏まえた「学校改善プラン」を策定して、子ども一人ひとりの学力をしっかりと把握し、基本的な知識・技能の着実な定着や主体的に問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを育みます。また、習熟度別学習や放課後・長期休業期間における補習授業、ICT（情報通信技術）の効果的な活用、学ぶ意欲を高め、きめ細かな学習指導の充実に努めた授業づくりを進めます。

各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、学校生活のさまざまな場面を通じての言語活動や、他者や社会との豊かな関係を築くためのコミュニケーション能力、将来の社会的・職業的自立に向け必要となる能力を育む

また、小学校におけるプログラミング教育が新たに必修化され、児童生徒用のタブレットを導入してICTを効果的に活用して各教科で学ぶ楽しさやわかる喜びを実感で



全国的に人口減少時代を迎えようとする中、ひとつの自治体だけで全ての政策を効果的に実施することは難しい時代です。現在、旭川市を中心として定住自立圏構想の推進に取り組んでいます。各自治体は自分たちの強みを活かしながら、協力し共存することができるよう、新たな連携事業にも協議を行います。

先人の方々、そして、町民の皆様の努力により発展してきた、今日の豊かな比布町を後世に引き継いでいくため、昨今の厳しい経済状況を改革の好機として捉え、積極的な行政改革を進める必要があります。経費節減に向け、環境省関連の助成を受けて公共施設の二酸化炭素排出抑制対策の調査を行い、結果によっては、補正対応により、事業を実施したいと考えます。

また、消費税の増税に向け、公共施設等の使用料や暖房料の引き上げの可否も、庁内で研究を進めたいと考えます。

今までもスリム化を基本に行財政改革が進み、国の制度改革などによる事務量の増加や、専門性も求められ、地方

自治体の責任と負担は増加の傾向にあります。現在は、地方創生政策のもと、さらなる効果的かつ独創的な施策の企画・立案が求められる時代です。職員の育成に努めるとともに、すべての職員が人口減少対策担当者としての認識を持ちながら、「チーム比布」として一丸となり、業務に取り組みます。

現状の職員数は、他町と比較して決して多くない状況です。本年度は4名の職員を採用する予定で、3名の減員となります。係業務の見直しや窓口の一本化などを行い、適切な人員配置に努め、縦横斜めの連携を密にし、役場が町民の皆様の役に立つ場所として機能するよう努めます。

本年の予算規模は、一般会計が45億3,300万円、29年度に比べて4,700万円の減少となります。地方交付税総額は、減少傾向が続き、今後も国の動向に注視する必要があります。さらに、自主財源である町税収入は、評価替えに伴う固定資産税の減収が見込まれるものの、29年度の所得状況を反映して個人町民税に回復傾向が見られるな

人口減少や少子高齢化の進行、情報通信技術の急速な発展やグローバル化の進展など、社会が大きく変化・複雑化し、教育課題への対応が求められ、地方創生を実現し本町が持続的に発展するために、地域を支える教育の役割がより重要でです。

国の第3期教育振興基本計画の基本的な考え方や新学習指導要領では、これからの社会に求められる教育を実現するための理念が示されています。これらを踏まえ、学校教育は、第2学期から中学校校舎が小学校校舎に隣接されて

また、小学校におけるプログラミング教育が新たに必修化され、児童生徒用のタブレットを導入してICTを効果的に活用して各教科で学ぶ楽しさやわかる喜びを実感で

また、小学校におけるプログラミング教育が新たに必修化され、児童生徒用のタブレットを導入してICTを効果的に活用して各教科で学ぶ楽しさやわかる喜びを実感で

きる授業を行い、学習に対する意欲や関心を高めま



道徳は、「考え議論する道徳」の視点に立った授業づく

いじめ問題は、学校における実態調査の実施や子ども

本年度は「第5次比布町社会教育中期振興計画」の最終

親子のふれあいを深める親子参加型の体験教室や就学時

家庭での学習習慣の定着を図るため、小学生はボラン

また、放課後児童保育は、開所開始時間と開所終了時間

青少年の健全育成は、あいつつ運動や街頭巡視など、各

す。また、インターネット機器によるネットトラブルの未然

給食の提供に努めます。



少年団活動や部活動などを通して運動やスポーツの楽し

食育は、栄養教諭を中心に学校ぐるみで食育指導を推

学校給食は、食育の生きた教材として、食生活に大き

また、子ども会活動や婦人会連絡協議会の主体的な活

君の夢プロジェクト推進事業は、一流選手による技術指

生涯学習は、白寿大学を引き続き開設し、主体的な活

公民館・分館事業は、大切な交流の場として、自主的

もニーズに応じた各種講座や教室を開設して活動の場を

また、子ども会活動や婦人会連絡協議会の主体的な活

また、子どもの虫歯予防対策として、フッ化物洗口を中

安全管理は、各学校の危険管理マニュアルに基づき、交

危険箇所マップの作成などを実施して、登下校における通

また、文化連盟と連携して、町民文化祭など地域に根

また、子ども読書活動推進計画」に基づき、子ども



また、図書館は、多くの町民の方に親しまれるよう、蔵

子どもの読書活動は、ひろがり文庫によるよみきかせ

また、中学校の部活動やスポーツ少年団の活動を積極

や教育活動などの情報を積極的に発信して、家庭や地域

また、学校や教職員に対する多様な期待は、一方

教育環境の整備は、学校施設設備の点検や保守管理

また、中学校の部活動やスポーツ少年団の活動を積極

スポーツは、体力の向上や爽快感、達成感、他者との

■スポーツの振興■

また、中学校の部活動やスポーツ少年団の活動を積極

また、中学校の部活動やスポーツ少年団の活動を積極

また、中学校の部活動やスポーツ少年団の活動を積極

校舎で教育活動を行うことができるよう工事を進めま

■社会教育■

社会教育は、公民館や図書館、スポーツ施設などの

「いつでも、どこでも、だれでもが親しむことので

協力のもと、町民スキー・スノーボード教室をはじめ



本町の体育施設は、計画的に施設の整備を行い、

町民のみならず、市民の信頼と負託にこたえるため、

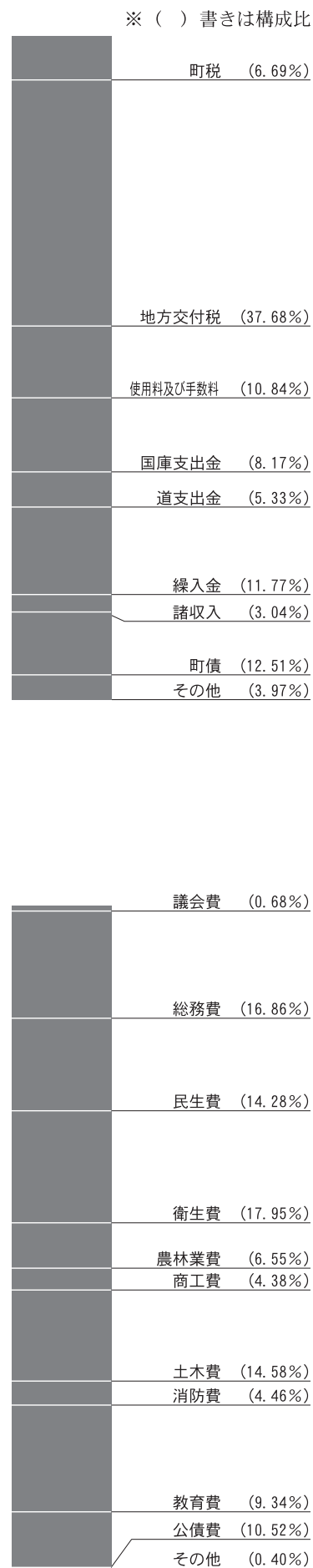
◆平成30年度一般会計の状況◆

【歳入】 (単位：千円、%)

歳入区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
町 税	303,417	300,882	2,535	0.84
地方譲与税	48,800	47,100	1,700	3.61
利子割交付金	290	193	97	50.26
配当割交付金	640	860	△ 220	△ 25.58
株式等譲渡所得割交付金	660	400	260	65.00
地方消費税交付金	74,000	72,000	2,000	2.78
自動車取得税交付金	6,600	5,100	1,500	29.41
地方特例交付金	987	1,200	△ 213	△ 17.75
地方交付税	1,708,000	1,699,000	9,000	0.53
交通安全対策特別交付金	670	800	△ 130	△ 16.25
分担金及び負担金	14,528	16,238	△ 1,710	△ 10.53
使用料及び手数料	491,232	496,037	△ 4,805	△ 0.97
国庫支出金	370,183	510,985	△ 140,802	△ 27.56
道 支 出 金	241,697	242,885	△ 1,188	△ 0.49
財 産 収 入	7,388	7,784	△ 396	△ 5.09
寄 附 金	5,505	20	5,485	27,425.00
繰 入 金	533,639	604,143	△ 70,504	△ 11.67
繰 越 金	20,000	20,000	0	0
諸 収 入	137,864	120,373	17,491	14.53
町 債	566,900	434,000	132,900	30.62
歳入合計	4,533,000	4,580,000	△ 47,000	△ 1.03

【歳出】 (単位：千円、%)

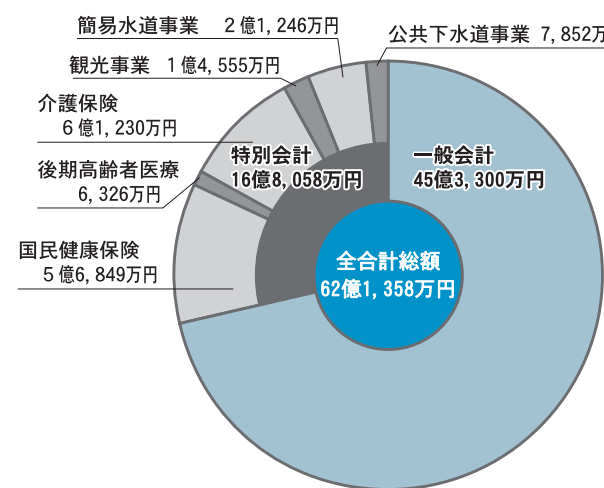
歳出区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
議 会 費	36,855	35,756	1,099	3.07
総 務 費	764,137	740,102	24,035	3.25
民 生 費	647,297	638,780	8,517	1.33
衛 生 費	813,645	773,708	39,937	5.16
労 働 費	123	173	△ 50	△ 28.90
農 林 業 費	296,857	313,488	△ 16,631	△ 5.31
商 工 費	198,685	150,692	47,993	31.85
土 木 費	660,826	628,773	32,053	5.10
消 防 費	202,175	165,709	36,466	22.01
教 育 費	423,410	736,869	△ 313,459	△ 42.54
災害復旧費	20	20	0	0
公 債 費	476,970	383,930	93,040	24.23
予 備 費	12,000	12,000	0	0
歳出合計	4,533,000	4,580,000	△ 47,000	△ 1.03



◆平成30年度全会計の状況◆

(単位：千円、%)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
一般会計	4,533,000	4,580,000	△ 47,000	△ 1.03
特別会計	1,680,585	1,812,706	△ 132,121	△ 7.29
国民健康保険	568,492	667,524	△ 99,032	△ 14.84
後期高齢者医療	63,257	61,720	1,537	2.49
介護保険	612,300	585,000	27,300	4.67
観光事業	145,551	111,000	34,551	31.13
簡易水道事業	212,461	288,303	△ 75,842	△ 26.31
公共下水道事業	78,524	99,159	△ 20,635	△ 20.81
歳出合計	6,213,585	6,392,706	△ 179,121	△ 2.80



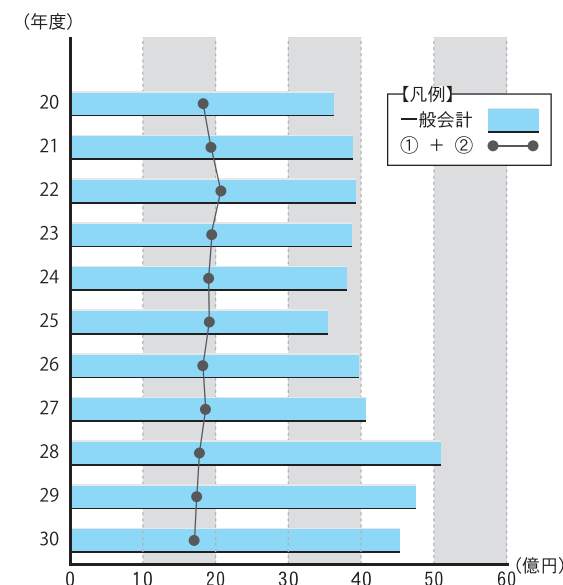
◆町民一人当たりの借金(町債)額◆

約156万円 (昨年 約146万円)
 59億890万円 (昨年55億7,900万円)
 (平成29年度末全会計借金残高見込み額)
 ÷
 3,778人
 (本年2月末現在住民基本台帳等登録数)

◆一般会計の交付税額等の推移◆

(単位：千円)

区 分	一般会計	地方交付税①	臨時財政対策債②	①+②
平成20年度	3,621,180	1,727,941	101,346	1,829,287
平成21年度	3,885,866	1,778,382	157,288	1,935,670
平成22年度	3,927,651	1,893,972	179,232	2,073,204
平成23年度	3,867,323	1,820,020	126,621	1,946,641
平成24年度	3,799,099	1,787,625	116,266	1,903,891
平成25年度	3,533,603	1,799,029	114,690	1,913,719
平成26年度	3,959,953	1,714,921	109,031	1,823,952
平成27年度	4,059,882	1,776,352	108,584	1,884,936
平成28年度	5,091,663	1,778,841	84,255	1,863,096
平成29年度	4,752,221	1,780,247	88,753	1,869,000
平成30年度	4,533,000	1,708,000	87,000	1,795,000



※ 「一般会計」欄は平成20年度から28年度までは歳入決算額、平成29年度は決算見込み額、平成30年度は当初予算額
 ※ 「地方交付税①」欄は、「一般会計」のうちの普通交付税額と特別交付税額の合計

平成30年度の一般会計は、昨年より1.03%減の45億3300万円になりました。
 また、6つの特別会計の総額は16億8058万5千円で、昨年より1億3212万1千円減少し、一般会計をあわせた全会計の総額は62億1358万5千円で、昨年より1億7912万1千円減少しています。
 なお、各種事業の詳細は、「広報びつぷ4月号」折り込みの「今年の予算の使い道」をご覧ください。

平成30年度予算
一般会計は1.03%減45億3300万円

第1回 町議会定例会 行政報告

第1回町議会定例会が平成30年3月5日に招集され、町長及び教育長から行政一般報告がされました。概要をお知らせします。



◆町長行政一般報告

諸工事の発注状況

平成29年度諸工事の発注状況は別表をご覧ください。

別表 諸工事の発注状況 (平成29年12月6日から平成30年3月2日まで)
(単位:円)

工事名及び工事の内容	請負業者	請負金額
寿団地A棟共用廊下壁補修工事 ガルバリウム鋼板 (A=140㎡)	榊水野工務店	1,247,400
注意喚起標識設置工事 交通標識設置 (建柱式・共架式) 6か所 (緑町3丁目)	国策共栄㈱	421,200

観光施設の営業状況

スキー場と遊湯びつぷの利用状況を報告します。

2月末現在のスキー場のリフト収入は、6489万2千円で、前年の同期に比べて213万8千円少ない96.81%で推移しています。今シーズンは、比較的早期

東高校2人、旭川北高校4人、旭川西高校3人、旭川南高校2人、旭川永嶺高校3人、旭川商業高校2人、旭川工業高校2人、旭川農業高校4人、旭川実業高校4人、札幌第一高校1人となっております。なお、推薦などで公立、私立あわせて8名がすでに合格内定を受けています。公立高校の合格発表は3月16日ですが、全員の合格を願うところで

全国大会出場報告

中学校ソフトテニス部は、本年1月5日に札幌市で開催された第44回北海道中学生ソフトテニス選手権大会に出場した中学校2年女子の山田萌華・田中仁湖ペアが第3位に入賞し、2月24、25日に愛知県東海市で開催された第13回選抜中学生ソフトテニスインドア大会に出場しています。この後、3月26日から28日に三重県伊勢市で開催される第29回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会、29日から31日に岐阜県で開催される第15回全国中学校選抜ソフトテニス大会に出場予定です。

に営業が開始できましたが、風雪などの天候不順により、営業が困難となった日や、降り続く雪により良好なゲレンデコンディションを提供できなかった日もあり、たいへん残念に思っています。

センターハウス「スキップ」は、開業2年目を迎え、新たな客層の開拓や話題性の創出など、効果が発揮されたことにより、ある程度減収に歯止めをかけられたものと思っています。今シーズンも、残り20日ほどの営業期間ですが、土・日・祝日には日没まで営業を行うなど、最後までお客様サービスに努め、業況が少しでも向上されるよう、関係者一同、鋭意努力します。

なお、今月3日、午前11時5分ごろ、第2リフトB線乗り場付近にて、作業中の従業員と搬器が接触し、脱索する事案が発生しました。ただちにリフトを緊急停止させ、30分後には、乗客全員を救助しました。幸い、従業員、乗客ともに怪我はありませんが、当日行われました「北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会」に30分ほどの遅れが生じ、リフト乗車中のお客様、

また、剣道少年団は、小学校6年女子の寒河江思子さん、小菅生莉子さん、宮田花蓮さん、嶋津帆夏さん、山地蓮さんの5人が、これまでの道内で行われた各種大会での成績が認められ、3月24、25日に茨城県水戸市で開催される第59回全国選抜少年剣道錬成大会に、旭川選抜メンバーとして出場することになりました。

北海道の代表として、また、旭川地区の代表として日ごろの練習成果を存分に発揮していただきたいと思えます。

なお、出場にかかる経費は、小中学生スポーツ文化振興補助金交付要綱に基づき支出します。以上、教育行政一般報告とします。

●町から提案した主な議案

- 比布町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正
- 平成29年度比布町一般会計補正予算(第8号)
- 平成30年度比布町一般会計予算 ほか19件

また、一般のご来場者皆様にも多大なご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

今後におきましては、従業員に対し、作業方法について再確認するなど、再発防止に向けた対策を講じ、一層安全なリフト運行に努めます。

次に、良佳プラザ・遊湯びつぷの利用状況ですが、2月末日現在の総入館者数は9万5159人で、前年同期に比べて5147人少ない、94.87%と、管理者から報告があり、引き続き厳しい状況と受けとめています。

宿泊は、平日を中心としたビジネス客のリピート利用が増加し、プラン化した価格の手頃感と上品な食事が、インターネットや口コミなどで広がっていると思っています。

また、スキーヤーの宿泊利用も概ね順調に推移し、特に、今シーズンは、週末に団体客が増加したとのことです。

一方、入浴は、冬期間の利用が昨年の実績を10%ほど下回っているようで、風雪などの天候不順により、施設へ向かう足を遠ざけたことが主な要因と推察しています。

なお、本年度から実施の宴会や宿泊に対して定額を支援する町民利用促進事業は、12月末までに想定を超える実績となり、今後も町民への関心と利用を高めます。

好調であるビジネスプランの営業展開の強化と、新年度に新企画を講じたいとの管理者の方針を尊重し、情報提供やPRの強化に努め、指定管理7年目の運営が円滑に遂行されるよう、さらなる協力を進めつつ、業績の向上を目指し連携を深めます。以上、行政報告といたします。

◆教育行政一般報告

学校別の高校受験状況

平成30年3月の比布中学校卒業予定者の高校受験状況については、

中学校3年生の卒業予定者は27名で、全員が高校進学を希望しています。すでに国立高校推薦面接及び私立高校入学試験等が終了し、明日6日に公立高校入学試験が行われます。

中央小学校6年生が まちづくりを提言

3月6日の町議会定例会の休会中に、中央小学校6年生25人が役場議場を訪れ、町議会議員の前で「比布町活性化プロジェクト」と題した意見発表会を行いました。

総合的な学習時間の一環で、「今のままの比布を将来に残したい」という児童らの願いからテーマを設定し、昨年5月の修学旅行先で「比布町を知っているかどうか」などの町外の方へ街頭アンケート調査を実施。その結果を踏まえ、より住みやすい町にするためには、どうしたら良いかと考え、「観光の活性化」「町の魅力発掘と発信」「人口を維持していく方策」の3つの視点で5グループから、さまざまなアイデアがタブレットなどを用いて本格的に提案されました。

提案後には、議会議員の皆さんから具体的な質疑や助言にも児童ら一人ひとりが個々の意見を持ち、「比布町は日本一のカタクリの群生地がある」「世界一大雪山がきれいに見える町」など発言する姿から町の未来を見つめ、さらに郷土を愛する心が伝わりました。



忘れずに手続きを！ 国民健康保険

就職・転職・転入・転出など、異動の多い時期です。
忘れずに国民健康保険（国保）の手続きを行ってください。



加入する方

国保は、いざというときに安心して病院にかかれるよう作られた制度で、加入者の収入などに応じてお金を出し合い、助け合うこと（相互扶助）を目的としています。

職場の健康保険に加入している方や生活保護を受けている方を除いて、すべての方が加入しなければなりません。

届出は14日以内に

加入の手続き以外にも、下の表に該当する方は、異動があった日から14日以内に必ず手続きをしてください。

◆加入の届出が遅れると：
○国保税をさかのぼって納めることとなります。
○届出までの医療費を全額自

己負担しなければならぬ場合があります。

手続きは世帯主が

国保では、世帯を一つの単位としています。そのため、手続きは、原則世帯主がまとめて行います。

世帯主が職場の健康保険に入っている場合、国保に加入するとき（国保をやめるとき）は、世帯主が手続きを行うことになります。また、国保税の納税義務も世帯主が負います。

なお、世帯主が職場の健康保険に入っている場合は、国保上の世帯主（納税義務者）を家族のうちの国保加入者に変更することもできます。詳しくは窓口でご相談ください。

修学のために転出する方

国保は、お住まいの市町村の国保に加入するのが原則ですが、大学・高校等に修学するため、他市区町村に住民登録をした被保険者で、転出前の世帯により生計が維持されているときは、世帯主からの届出によって、転出したあとも引き続き転出前の世帯の被保険者として保険証を使用できるという特例があります。転出の手続きの際にお届けください。

【必要なもの】
保険証、印鑑、在学証明書または学生証（入学する場合は入学許可通知書など）

■問い合わせ
役場保健福祉課国保医療係
☎85・4804

こんなときには役場保健福祉課国保医療係に届出を
(印鑑、加入される方のマイナンバーがわかるもの及び本人確認書類をご持参ください)

	届出が必要な場合	必要なもの	届出期限	
国保に加入	転入してきたとき	転出証明書	その日から14日以内	
	職場の健康保険をやめたとき	職場の健康保険をやめた証明書		
	職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき	被扶養者でなくなった証明書		
	子どもが生まれたとき	保険証・母子手帳		
国保を脱退	生活保護を受けなくなったとき	保護廃止通知書		
	転出するとき	保険証		
	職場の健康保険に加入したとき	国保及び健康保険の保険証		
その他	職場の健康保険の被扶養者になったとき	死亡したとき		必要になったとき
	死亡したとき	保険証・死亡を証明するもの		
	生活保護を受けたとき	保険証・保護決定通知書		速やかに
	町内で住所が変わったとき	保険証		
	世帯が分かれたり一緒になったりしたとき	保険証		
	国保上の世帯主を変更するとき	保険証・世帯主同意書		
保険証を紛失したとき	本人であることが確認できるもの			
交通事故でケガをしたとき	交通事故証明書			

自分の体を知るために！

健診を受けましょう！



今年度の健診日程は下記のとおりです。健康管理のためにぜひ受診しましょう。申し込みの必要な健診は、4月に各地区の保健推進員が健診申込票を配布します。必要事項を記入して、お申し込みください。

■問い合わせ 保健センター ☎85 - 2555

平成30年度健診予定表

月	日	健診名	実施場所
7月	4、19日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）
	10、11、12、13日の4日間	総合特定健康診査（生活習慣病予防健診、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん検診）	保健センター
	24、25日	結核検診（年度内65歳以上の方）	各分館、保健センター
8月	6、24日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）
9月	4、5日	エキノコックス症検査（対象地区 寿町、緑町）	保健センター
10月	17、18、19、22日の4日間	総合特定健康診査（生活習慣病予防健診、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん検診）	保健センター
平成31年1月	23日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）
2月	19日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）

個別がん検診

旭川がん検診センターでは、個別がん検診を下記のとおり実施します。

■検診実施期間

6月1日～平成31年2月28日（休診日を除く）

■申し込み方法

各自で旭川がん検診センターに電話でお申し込みください。（☎53 - 7111）

検診名	検査内容	対象者	自己負担額
胃がん検診	胃バリウム検査	30歳以上	1,500円
肺がん検診	胸部レントゲン検査	30歳以上	500円
	胸部ヘリカルCT検査	50歳以上	500円
	喀痰検査	胸部レントゲンまたは胸部ヘリカルCT検査受診者	500円
大腸がん検診	便潜血検査	30歳以上	500円
前立腺がん検診	血液検査	50歳以上の男性	900円
子宮がん検診	頸部・超音波	20歳以上の女性	1,900円
乳がん検診	マンモグラフィ	30歳以上の女性	49歳以下：2,200円 50歳以上：1,800円

※胸部ヘリカルCT検査は、個別検診（旭川がん検診センター）でのみ受診可能です。集団検診（比布町保健センター）では受診できませんので、ご注意ください。

任意予防接種の助成

任意予防接種の助成内容は下記のとおりです。助成額の設定が変更となっていますので、ご確認ください。季節性インフルエンザについては、接種時期にあわせて広報紙折り込みなどでお知らせします。

対象予防接種名	対象者	助成回数	助成上限額
おたふくかぜ	1歳～就学前	2回	1回 2,000円
ロタウイルス	ロタリックス：生後24週まで	2回	1回 9,000円
	ロタテック：生後32週まで	3回	1回 6,000円
風しん	①19歳以上で妊娠を予定または希望している女性 ②妊娠中の配偶者	1回	6,000円
季節性インフルエンザ	①6か月～高校3年生年齢相当 ②妊婦	2回まで	1回 1,500円

※季節性インフルエンザの助成対象接種実施期間は10月1日～平成31年1月31日です。
※接種費用額から助成上限額を差し引いた金額が自己負担となります。（接種費用額が助成上限額に満たない場合は、接種費用の全額を助成します。）



利用料
・無料

利用の仕方
・事前に利用登録をください。(役場保健福祉課にある申請書に記入・押印)
・利用希望日の前日午後3時まで予約をください。
・目的地への到着時間の指定はできません。
・1日1回の利用で、目的地は2か所までになります。
・週2回までの利用となります。(ただし、自動車を保有している方と同居している場合は、週1回の利用となります。)

支援内容

- ・日常の生活送迎サービス
- ・通院送迎サービス(びびたく号)
- ・集会・つどい送迎サービス
- ・余暇活動送迎サービス
- ※支援内容の範囲を超えた送迎は、お断りさせていただきます。

帰るとき

①指定場所へ配車
予約をした時間に迎えに行きます。運行の都合上、遅れる場合があります。

②指定場所から目的地へ
同じ時間帯に予約した方がいる場合は、ほかの方を乗せながら、効率の良い順路で運行します。

③目的地到着



出かけるとき

①電話で予約(前日の午後3時までに)

依頼主
北町の比布花子ですが、〇月〇日の午前10時に、自宅から役場までお願いします。帰りは10時30分に、役場から自宅までお願いします。

②予約受付完了

職員
北町の比布花子さんですね。〇月〇日の午前10時に、自宅から役場まで予約を受け付けました。帰りは10時30分に、役場に迎えに行きます。

③目的地へ

同じ時間帯に予約した方がいる場合は、ほかの方を乗せながら、効率の良い順路で運行します。

④目的地到着



対象者

町内に居住し、自動車運転免許証を保持していない、または、自動車運転免許を保持していても自動車を保有していない方で、自動車を自分で乗降できる次のいずれかに該当する方です。
また、4月からは自動車も所有している方と同居の方も対象となります。
65歳以上の方(満年齢)

運行日

・月曜日～金曜日(祝祭日及び12月31日～1月5日は除く)

運行時間

・午前9時～午後4時

運行地域・経路

町内全域、予約状況により効率の良い順路で運行することになります。

予約先

役場保健福祉課専用電話
85・4800

問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係
85・4804

健康生活

コレステロールについて

コレステロールはテレビや雑誌で頻りに特集が組まれ、すっかり悪者扱いを受けていますが、細胞膜の成分は、各種ホルモンの材料として欠かせない物質で、生命維持には、重要な役割を果たします。

コレステロールには、善玉といわれるHDL、悪玉と言われるLDLの二種類あります。LDLは、摂取された食事から合成されたコレステロールで、血液を通じて全身に運ばれ、細胞膜やステロイドなどの各種ホルモンの材料に使われます。このLDLは増えすぎると血管の壁に付着して血流が悪くなります。これがいわゆる動脈硬化と呼ばれる症状です。一方、HDLは血管に付着したコレステロールを回収して肝臓に戻す働きがあります。取り過ぎると、動脈硬化性疾患(狭心症・心筋梗塞・脳卒中など)の病気のリスクが高まります。死亡危険度が最も低くなるのは、200～259mg/dlといわれます。

逆に少なすぎると、脳出血やがん、感染症などの病気にかかる可能性が高く、最近では、うつ病の発症リスクが高まるとの研究成果も出ています。低コレステロールになるとセロトニンという精神状態を安定させる脳内物質が少なくなり、精神的に不安定となるといわれます。増加だけでなく減少にも気を付けなければならぬコレステロールですが、一番の要因は食生活にあります。

食事の西洋化がその増加の根本にあります。偏った食生活が引き金となり体内脂肪を増加させています。日常の運動不足も原因の一つです。運動しなければ、脂肪は燃焼されませんので、体内に溜め込んでしまいます。

また、ストレスやタバコを吸う習慣もHDLを低下させるといわれています。15分以上の汗をかく程度のウォーキングは、脂肪燃焼やHDLの増加に効果があると言われています。無理のない運動やダイエットから始めてみましょう。

町立びびくクリニック
院長 加藤一哉



定期購入が契約条件!? 「お試し」「1回だけのつもり」が定期購入だった!?

◆問い合わせ◆役場産業振興課商工労働係 ☎85-4806

話がつながらなかつたりする場合も多くあります。
●商品を注文する前に、特に最終確認画面で定期購入が条件になっていないか、中途解約や返品はできるのかなどの契約内容をしっかりと確認することが大切です。
●業者と連絡が取れないなど、不安なとき、困ったときは、消費生活センターなどへ早めにご相談ください。(消費者ホットライン188)

～誘いに乗らない、申し込まないことが肝心～
●消費者ホットライン ☎0570-064-370
●旭川市消費生活センター☎0166-22-8228
すぐに消費生活センターに相談しましょう

◆◆相談事例◆◆

スマートフォンで筋肉増強のサプリメントが約500円で購入できるという広告を見て申し込み、商品を受け取った。
最近になって、再び同じ商品が届き、今度は6千円以上になるとの請求書が入っていた。事業者に電話したところ、4回購入が条件の定期購入だと言われた。画面の下の方にそのような説明が書かれていたようだが、申し込みの際は気付かなかった。
(60歳代 男性)

◆◆消費者へのアドバイス◆◆

- ホームページ等の広告を見て、健康食品などを低価格で購入できると思って申し込みしたが、実際には数か月間の定期購入が条件となっていたという相談が寄せられています。
- 定期購入の契約条件によっては、途中での解約ができなかつたり、解約しようと事業者に連絡しても、電



こんにちは！僕は防災レンジャー。比布町の防災力を高めるために、役場総務企画課生活安全係で働いているんだ。みんなはもう僕のことを知っているよね？知らない人のために少しだけ説明しよう。ここは防災に関する基礎知識をみんなに伝えるページなんだ。毎月災害から身を守るのに役立つ情報をお知らせしているよ。
 今月は災害時の「避難所・避難場所」について確認しよう！



災害時の避難先として、広域避難場所と指定避難所があり、それぞれ役割が異なります。各避難所・避難場所には目印として緑色の看板が設置されています。

○指定避難所

災害等で住宅に住めなくなった時や、町から避難勧告や避難指示が発令された時に避難する屋内の施設

対象行政区	施設名
1・2・3・4・5・6区、西・南・新・緑町	体育館 農村環境改善センター
9・10・11・26区、寿町	中央小学校
7・8・12・13・14・15・16・17区	比布中学校
18・19・20・21・22・24・25区、蘭留町区	良佳プラザ遊湯びっぷ
東・北・中町	多目的室内運動場 (いちごアリーナ)

災害は突然起こるもの。緊急時には、素早く避難することが大切だ。自分の家や職場から、避難所・避難場所までどの道を通ったら安全に行けるか確認しておこう。防災レンジャーとの約束だ！

○広域避難場所

地震や火災などの災害が発生した時に、一時的に避難するための安全で広い場所

施設名	所在地
比布中学校グラウンド	北2線8号
中央小学校グラウンド	寿町4丁目1番1号
百年記念公園多目的広場	南町2丁目
東園広場	北2線13号
旧蘭留小学校グラウンド	北9線14号
南分館広場	基線2号

「避難経路を確認するリアル防災レッド」



町民カレンダーの一番最後にハザードマップが載ってるよ。

■問い合わせ
 役場総務企画課生活安全係
 ☎85-4801

子どもの広場 4月の行事予定

子どもの広場

■開催日■

月・水・金曜日：午前9時～正午・午後1時～3時

火・木曜日：午前9時～正午

■内容■ 入園前の親子を対象に、遊びや育児に関する情報提供や保護者同士の交流の場として開催しています。予約は不要です。

子育て相談

■開催日■ 子どもの広場開催中（随時）

■内容■ 保育士による子育て相談を行います。必要に応じて、保健師や栄養士も対応します。事前に予約が必要です。※町民カレンダーに掲載しています。

今月の行事

■こいのぼりせいさく

4月20日（金）午前11時～正午

みんなでかわいいこいのぼりを作っちゃおう！

■問い合わせ■ 保健センター ☎85-2555

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 お休み	7
8	9	10	11 0歳児教室 (0歳～1歳児) 身体測定	12	13 へき画 せいさく	14
15	16	17	18 1歳児教室 (1～2歳児)	19 お休み	20 こいのぼり せいさく	21
22	23	24	25 2歳児教室 (2～3歳児)	26	27 しんぶん あそび	28
29 しょうわの日	30 ふりかえ 休日					



／新生チーム包括支援センターです♪／

気軽に相談してね！

いつでも元気で
 過ごしていただくために
 健康寿命の延伸を目的に、地域で集まり、楽しく体操できる場を作っています。町主催の事業のほか、町民主体の活動を応援しています。
 介護予防事業
 ふまねっと運動 など

安心して徘徊できる
 まちにするために、まずは認知症を知ろう！



何でも相談してください！
 本人、家族、地域の方から介護・健康・福祉など様々な相談に対応し、適切なサービスや機関・制度が利用できるように支援します。「最近、近所の高齢者を見かけなくなってきたから心配だ」「最近、物忘れがひどくなった」「どこに相談していいのかわからない」「なぐ、このようにひどい」など、このようにいろいろな相談を受けています。



ふまねっと最高！>

当センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう高齢者の生活全体を支援しています。

認知症になっても自分らしく生きることができ
 町づくり
 認知症の方とその家族の方への支援のほか、地域で認知症の知識を持って、認知症の方や家族を温かく見守る「認知症サポーター」などの養成を行っています。
 認知症サポーター養成講座
 認知症講演会 など

／健康はまず自分自身の意識が大切！／



高齢者の権利を守ります

高齢者虐待の早期発見・防止に努めます。また、成年後見制度など、権利擁護に関する制度の紹介を行います。

互いに支えあえる
 地域づくりを応援します

町民のみなさんとともに、地域見守りネットワークの充実や、地域の支えあい集いあいの取り組み支援します。



特技はバレーボール！

定岡 正美さん
 グループリビング桂・介護員

利用者さんの笑顔を見れたときが、働いて楽しいと思う瞬間です。比布はほのほのとした時間がイイ！みなさん楽しく、とてもいい笑顔ですごさえていていいな～と思います。

今月の介護
 イケメン×イケジョ

容器包装リサイクル法の「品質ガイドライン」の変更に伴い、「容易に分離可能なラベルははがす」ことになりました。

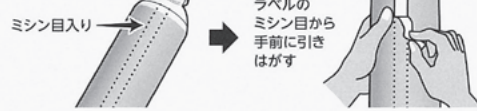
平成30年
4月から

ご家庭のペットボトルの 出し方が変わります。

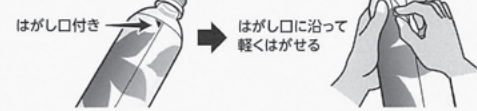
容易に分解可能なラベル

※はがしたラベルは「燃やせるごみ」に出してください。

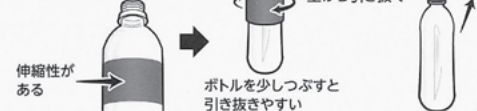
●ミシン目入りのラベル
(シュリンクラベル)



●はがし口のあるラベル
(ロールラベル)



●伸び縮みするラベル
(ストレッチラベル)



●シール類



はがしにくいラベル

※無理にはがす必要はありません。



【問い合わせ先】 役場保健福祉課衛生係 TEL 85-4804

ソフトテニス 全国大会出場おめでとう 山田萌華さん・田中仁湖さんペア

3月26日から三重県で開催された「都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会」と3月29日から岐阜県で開催された「第15回全国中学校選抜ソフトテニス大会」。比布中学校ソフトテニス部2年の山田萌華さん・田中仁湖さんペアが3月19日、村中町長と谷教育長のもとを訪れ、出場報告を行いました。山田さんは「チームを盛り上げ、一つ



でも多く勝ちたい」と話し、田中さんも「道代表として恥ずかしくない試合をしたい」と意気込みを語りました。

ふるさとを懐かしみ第65回となる 旭川比布同郷会総会を開催

3月18日、旭川近郊に住む比布町出身者で構成する旭川比布同郷会（合田春夫会長）の第65回総会と懇親会が旭川トーヨーホテルで開かれ、会員65人、札幌比布会の会員14人、比布町内から16人の計95人が出席しました。

合田会長は、「今年65回目を迎える総会。ふるさと比布町の益々の発展を願い、さらなる交流を深めてほしい」とあいさつ。懇親会では抽選会やカラオケなどが行われたほか、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、楽しいひとときを過ごしました。



さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



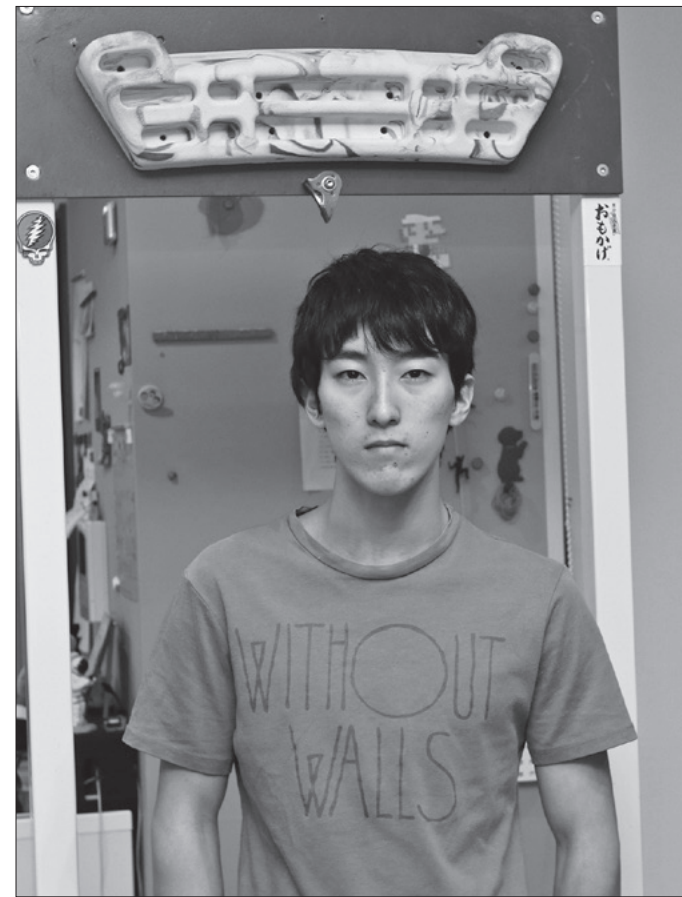
pip
star

012 Haru Miyazaki

宮崎 法瑠さん

旭川永嶺高校2年

「小学4年生の時、ニセコ町で初めてボルダリングをやったのが初めて。本格的に旭川のボルダリングのジムに通ったのは小学6年生の2月からです」と語るのは、旭川永嶺高校2年の宮崎法瑠さん。
週2回ほど美唄市の体育館にある練習場にJRで一人で通い、帰宅は午後11時を回ることも。高校進学の際は、旭川のジムに高校から徒歩で通える所と決めてましたから迷いはなかったと笑って話してくれました。
昨年2月に初めて左手中指を骨折してしまい、半年以上登れない日々が続いたことから、登らない練習メ



スポーツクライミングって？

2020年の東京オリンピックの正式種目にも追加された**スポーツクライミング**は3種目（リード・ボルダリング・スピード）の複合競技として実施される今、注目の競技です。

【リード】

ロープで安全を確保された選手が12メートルを超える高さの壁に設定されたコースを登り、制限時間内での到達高度を競う種目。

【ボルダリング】

高さ5メートル以下の壁に設定された複数のコースを制限時間内にいくつ登れたかを競う種目で、命綱を使わず、専用の靴と身体ひとつで登る種目。

【スピード】

高さ15メートルの壁に設定された、予めホールドの配置が周知された同一条件のルートを駆け登るタイムを、コンマ数秒まで競い合うスプリント種目。

ニューなどを考えて行動するようになったとのこと。自宅での筋肉トレーニングも欠かさず、突起物の「ホールド」を付けた器具でゆっくりと時間をかけて懸垂したり、体幹を鍛えるなど、余念がありません。中でも今一番、気をつけていることは体重管理。172センチ、55キロ、体脂肪率6%の宮崎さんですが、やはり体重の軽い方が競技には有利なため、日ごろからカロリーチェックに目を光らせています。「無駄な脂肪を取らないように糖質コントロールに気をつけ、鶏肉や野菜料理が中心。でも大会前はスタミナも大事なので Pasta など炭水化物をたくさん食べます。だから母には食事の面で感謝しています」日常生活はすべてクライミング中心と語る宮崎さん。

宮崎さんは、10月29日の北海道山岳連盟主催の第16回スポーツクライミング北海道選手権大会で入賞したことから、北海道強化指定選手の一人に選ばれました。さらに1月28日に美唄市で行われた日本ユース選手権リード競技大会北海道選考会で見事総合1位に輝き全国大会出場の切符を手に入れました。「まさか1位になれるとは思ってなかったので、うれしかったです」と大会を振り返ります。「リード競技は持久力が勝敗を分けますが、自分はまだ持久力がないので、気合いで乗り切りました」と笑顔で語ってくれました。父の憲嗣さんは「全国レベルを知って、後悔のない登りで実力を出し切ってほしい」とエールを送りました。
宮崎さんは、3月24日に千葉県印西市で日本ユース選手権リード競技大会2018に出場し、健闘されました。

情報満載

比布町役場 (代表)	85-2111
総務企画課	85-4801
まちづくり推進室	85-4802
税務住民課	85-4803
保健福祉課	85-4804
地域包括支援センター	85-2112
産業振興課	85-4806
建設課	85-4807
議会事務局	85-4808
農業委員会	85-4809
比布町教育委員会	85-2262
図書館	85-3354
体育館・改善センター	85-2513
保健センター	85-2555
びびたく号	85-4800
グリーンパークびっぴ	85-2383
遊湯びっぴ	85-4700

わが家のアイドル



なかた てっぺい
中田 哲平ちゃん
健介さん・靖子さんの二男
(2歳6か月・寿町)

小さな体の大食漢です。
歌うことと食べることが大好き！
兄の影響で、カーズにハマってます。

みなさんのご家庭のかわいいアイドルをご紹介します。最近の写真とコメントを添えて、役場総務企画課広報係にお寄せください。写真はカラー・白黒を問わず、Eメールでの投稿もお待ちしております。宛先は裏表紙をご覧ください。

お知らせします 小学生から高校生までの 就学を支援します

町では低所得世帯などを対象に、お子さんの就学を支援しています。
高校に就学するお子さんに対しては月額5千円を支援します。

詳しくは、今月号の折込をご覧ください。
■問い合わせ
教育委員会学校教育係

中央小は町指定避難所です
無線LAN環境設備を
設置しました
総務省の「公衆無線LAN環境整備支援事業」を活用し

て、中央小学校内に無線LAN環境設備を設置しました。中央小学校は、町の指定避難所として指定されています。

この事業は、防災拠点などとして想定される公的施設において、災害時に必要な情報伝達手段を確保することを目的としています。

平時は、教育での利用として活用し、災害時にはWi-Fiが利用できる端末があれば簡単な認証でインターネット接続が可能となります。
■問い合わせ
教育委員会学校教育係

参加者募集のお知らせ 散歩道整備ボランティア

突哨山は、さまざまな野草を楽しむことができ、中でもカタクリの群生は日本最大級ともいわれています。
今シーズンも多くの方が気持ちよく散策が楽しめるよう、ボランティアを募り、カタクリなどの開花前に散歩道の整備作業を行います。

みなさんのご協力をお願いします。
■日時 4月21日(土) 午前9時(雪解けの状況で日程を変更する場合があります)
■集合場所 村上山公園駐車

場



■作業内容 笹刈り、枝切り、ごみ拾いなど
■持ち物 ブラシカッター、のこ(お持ちの方のみ)
■服装 長靴、軍手など作業のできる服装
■申込締切 4月18日(水)
■申し込み・問い合わせ
役場総務企画まちづくり推進室地域政策係

申し込みのお知らせ 農産加工室5月利用分

5月1日から31日までの間に、改善センター農産加工室の利用を希望する方は、5人以上のグループで、加工品目と数量をまとめてお申し込みください。
■締切 4月9日(月)
■抽選会 4月16日(月) 午前9時30分から福祉会館

■申し込み
役場産業振興課特産振興係

いつでもご参加ください
好きなきことが
もっと好きになる講座
町では、マーケティングの

手法を用いて好きなことが
もっと好きになる講座を毎月
開催しています。
自分の会社や地域の良さを
知り、新たな価値を生み出し
ませんか。ぜひ、ご参加く
ださい。詳しくは、今月号の折
込をご覧ください。
■対象 町民、町内の事業所、
団体に働いている方
■日程 4月21日(土)、5

月26日(土)、6月23日(土)、
7月21日(土)
※以降は決まり次第お知らせ
します。
■時間 午後1時~午後5時
■場所 福祉会館大講堂
■参加料 無料
■問い合わせ
役場総務企画まちづくり
推進室地域政策係

お知らせします 農業委員会だより

次の議案が審議され、承認
されました。
第7回総会(1月23日開催)
◎農地法第3条の規定による
許可申請
2件 438、115・50㎡
◎農地法第5条の規定による
許可申請

2件 28、049㎡
◎農用地利用集積計画の決定
7件 284、812・61㎡
◎農用地の買入協議に係る要
請 3件 147、650㎡
第8回総会(2月23日開催)
◎農用地利用集積計画の決定
24件 656、454㎡
◎農用地利用配分計画案(利
用権設定)
1件 23、353㎡

戸籍のまど (3月15日までの届出)

※了承をいただいた方のみ掲載して
います。
◆お悔やみ申し上げます◆
(氏名・享年・行政区)
一戸 邦幸さん 60歳(4区)
曾我部良子さん 82歳(8区)
小山 利子さん 77歳(20区)
合田 フジさん 92歳(東町)
本間 隆子さん 86歳(新町)
星野 裕さん 84歳(緑町)
勝見 敏さん 68歳(緑町)
徳光 貞男さん 74歳(緑町)

受付は4月から 学生の方は 「学生納付特例制度」



学生本人の前年の所得が一定額以下であれば、市町村の窓口
に申請し、承認を受けると国民年金保険料の納付が猶予されま
す。

申請が遅れると「障害基礎年金」などが受けられない場合が
ありますので、手続きはお早めに。

手続きに必要なもの

- マイナンバーが確認できる書類および本人確認書類
- 申請年度有効の学生証(コピーの場合は両面)または、
在学証明書原本
- 印鑑

平成26年4月から免除申請期間が拡大しています。
過去に学生納付特例の申請をお忘れの方は、手続きを!

過去の学生納付を受ける場合、申請期間をご確認ください。
平成30年4月中に申請する場合は、下表を参考にしてください。

【学生納付特例の申請可能期間と前年所得の関係】

年度	学生納付特例の申請可能な期間	審査対象となる 前年所得
27年分	平成28年3月	平成26年中所得
28年分	平成28年4月~平成29年3月	平成27年中所得
29年分	平成29年4月~平成30年3月	平成28年中所得
30年分	平成30年4月~平成31年3月	平成29年中所得

平成30年度国民年金保険料

(平成30年4月から)

第1号被保険者 月額 **16,340円**

☆☆ 国民年金保険料は忘れずに納めましょう ☆☆

■問い合わせ ■役場税務住民課戸籍年金係 ■

■旭川年金事務所 ☎72-5004または5005 ■*自動音声案内

まちの人口 (2月末現在)

総数 3,778人 (-14)
男 1,769人 (-9)
女 2,009人 (-5)
世帯数 1,817世帯 (-9)

※住民基本台帳登録数
() は対前月増減数

広報

ぴっぷ

5月号は5月2日発行予定です

ストップ・ザ・交通事故死

～めがせ 安全で安心な北海道～



身につけよう 命のお守り 反射材

(交通安全スローガン 平成 29 年度 内閣総理大臣賞)

4月の行事予定

- 5(木) 中央小学校入学式・始業式
10:00 同校
比布中学校入学式・始業式
13:00 同校
- 6(金) 保健推進員会議
10:00 保健センター
婦人会連絡協議会代議員定期総会
10:30 福祉会館(大講堂)
- 12(木) 民生・児童委員協議会総会
16:00 役場(第1・2会議室)
防犯協会役員会・総会
17:00 福祉会館
- 15(日) ぴっぷの自然たんけん隊
9:00 福祉会館出発
- 19(木) 自衛隊協力会役員会・総会
17:00 福祉会館
- 21(土) びびの路整備作業
9:00 村上山公園駐車場
- 23(月) 交通安全協会役員会・総会
17:30 福祉会館
- 24(火) 白寿大学入学式・始業式
9:45 福祉会館(大講堂)
- 25(水) 交通安全網の目ローラー作戦
10:00 蘭留トラックスケールほか
- 27(金) 第10回農業委員会総会
13:00 役場(議場)

※変更になる場合がありますので、無線放送などにご留意ください。

をしていきますので、みなさんからの情報提供をお願いします。

▼広報広聴活動における個人情報取り扱いについて
町では、広報紙などの発行や記録、情報収集のため、個人を特定できる取材や写真・動画撮影を行っています。

取材や撮影を行うときは、担当職員が赤地に白く「比布町」と書かれた腕章を着用しています。

なお、取材などで得た資料は、次の利用目的の範囲で使われます。

■町の刊行物 広報紙・パンフレット・ケーブルテレビ・インターネット(ホームページ・YouTube・フェイスブック・ツイッター)など

■各種資料としての活用

■その他の目的 報道提供・広告・出版物・ポスター

■問い合わせ
役場総務企画課まちづくり推進室広報係



家賃月額1万円補助します

年度末に1年分をまとめて返金!

- 対象 (平成30年4月1日現在)
- ①45歳以下の単身者世帯
- ②平均年齢が45歳以下の夫婦がいる世帯
- ③中学生以下の子どもがいる世帯

※平成29年4月～32年3月まで
※町内会加入が条件です
※公務員、独立行政法人の職員は対象外です

■対象アパート
町内の民間アパート
ディオ(西町)、アルビオ(新町)、メゾン宮の杜(新町)、キャンディ(新町)、ヴェールクラルテ(緑町)ネクステージ(7区)

家を建てたい人も安心!

宅建協会旭川支部に加盟する不動産事業者が取り扱う物件を購入し、実際に住み始めたときに

- ◆中学生以下のお子さん一人につき **50万円**プレゼント (最大3人・150万円まで)
- ◆町内で使える商品券 **10万円分**プレゼント
- ◆媒介報酬(仲介手数料) **5万円**まで補助

■問い合わせ ☎85-4802
役場総務企画課まちづくり推進室地域政策係

■開設時間を延長
放課後児童クラブは利用者随時募集中です

■対象者 ■中央小学校1年生～6年生の留守家庭児童
▼今年度から開設時間が延長されました

■開設時間 ■平日 午後1時30分～午後6時30分
土日曜・学校休業期間 午前8時～午後6時30分
※お迎えの時間を過ぎないようにお願いします。

▼今年度から新たに夏休みや冬休みのみの利用が可能とな

■問い合わせ
教育委員会社会教育係
児童クラブ
☎85-2227

■突哨山運営協議会運営委員
突哨山運営協議会では突哨山の管理・運営方針を協議する運営委員を募集します。

募集の対象は、自然が好きで、突哨山の運営・活動に関心があり、積極的に参加していただける方です。

■まちの話題をPR
みなさんからの情報提供をお待ちしています

広報係では町内のイベントやまちの話題を広報紙をはじめ、ホームページなどインターネットを活用して広く紹介しています。

これからもより一層、比布町を町内外に広く紹介・PR

■定員 ■30人(先着順)
■参加料 ■無料
■申し込み・問い合わせ ■旭川市森林組合
☎36-4268

■自衛官候補生(男女)
■受験資格 ■日本国籍を有する18歳以上27歳未満の男女
※平成31年4月1日現在

■受付期間 ■年間を通じて行っています。

■試験日 ■5月20日(日)・21日(月)のいずれか1日

■試験会場 ■受付時にお知らせします。

■問い合わせ ■自衛隊旭川地方協力本部
北地区隊 ☎54-5617
役場総務企画課生活安全係

■申し込み・問い合わせ
NPO法人もりねつと北海道(中村)
☎0166-76-2006

■ご参加ください
きのこ栽培講習会を開催

■日時 ■4月12日(木) 午後1時30分～午後3時
■場所 ■比布町農協2階 第2会議室

■対象 ■どなたでも参加できます。(ただし、お子さんの参加は保護者同伴でお願いします。)

狂犬病予防注射を受けましょう

犬の登録受付と狂犬病予防注射を行います。最寄りの場所で受けてください。

【狂犬病予防注射】狂犬病予防法により、生後91日以上の犬は年1回必ず受けさせなければなりません。

■日時・場所 右表のとおり
■手数料(1頭につき) 3,110円
※料金は、釣りのいらないようにご用意ください。

【飼い犬の登録】生後91日以上の犬は登録手続きが必要です。まだ登録手続きをしていない方は、必ず登録手続きをしてください。

■手数料(1頭につき) 3,000円
【注意事項】

- ①鑑札と狂犬病予防注射済票は、犬の首輪などに必ずつけてください。
- ②飼い犬が死亡したときや飼い主が住所変更した際には、役場に届け出をしてください。
- ③町外の動物病院などで狂犬病予防注射を受けたときは、病院で発行された予防注射済証を持参のうえ、役場で狂犬病予防注射済票の交付手続きをしてください。(1頭につき550円の手数料がかかります)

■問い合わせ ■役場保健福祉課衛生係 TEL85-4804

4月20日(金)	
場所	時間
4区会館前	9:00～9:10
南分館前	9:20～9:30
7区会館前	9:40～9:50
15区会館前	10:00～10:10
東園地域センター前	10:20～10:30
11区会館前	10:40～10:50
5区会館前	11:00～11:15
17区会館前	13:00～13:10
19区会館前	13:20～13:30
20区会館前	13:40～13:50
21区会館前	14:00～14:10
比布消防団第3分団前(旧蘭留分団)	14:20～14:30

4月21日(土)	
場所	時間
役場総合車庫前	9:00～13:00

【お詫びと訂正】
広報ぴっぷ3月号の11ページ「情報満載」の中で掲載しました固定資産税台帳の縦覧期間につきまして、表記に誤りがありますので、訂正し、心よりお詫び申し上げます。

なお、正しい縦覧期間は、4月2日～7月31日(土日祝日を除く)までです。お間違えのないよう、お願い致します。

3月24日から25日にかけて茨城県水戸市で開催された第59回全国選抜少年剣道錬成大会に、比布町剣道少年団所属の5人の剣士が参加しました。

大会では、全国から約430チーム、約2150人の剣士が一堂に会し、技を競い、研鑽を積みまします。

5人は旭川剣道連盟選抜チームの一員として選出されました。選抜チームBに寒河江 選手さん、小菅生 莉子さん。選抜チームCに宮田 花連さん。そして選抜チームDに嶋津 帆夏さん、山地 蓮さんが選抜され、普段組むことのない他の道場の選手たちとも一緒にになり、5人1組で競い合います。

今回出場にあたって、5人に抱負をお聞きしたので、ここで紹介します。

比布町剣道少年団から 5名が全国大会出場!

文部科学大臣杯第59回全国選抜少年剣道錬成大会

「チームはバラバラでも、思いはひとつです!」

今回は別々のチームで戦うが、同じ少年団の仲間として、竹刀合わせて結束を誓った。



寒河江 思子さん

「みんなで団結して少しでも上位にいけるよう、頑張りたいです!」



小菅生 莉子さん

「男子より女子のほうが人数が少ないので、チームで協力して1勝を目標にしてチームのみんなに頑張りたいです!」



嶋津 帆夏さん

「チームのみんなに貢献できるような試合をしたいです!」



宮田 花連さん

「いつもは知っている人とチームを組んでやっていたけど、知らない人と組むので、みんなで協力して頑張りたいです!」



山地 蓮さん

「自分のチームの役に立てるように頑張ります!」



上川中部北4町だれもが暮らしやすい地域づくり研修会を開催しました

2月16日(金)に愛別町「蔵ら」にて、上川中部北4町だれもが暮らしやすい地域づくり協議会主催で研修会を開催しました。

この研修は、これまでの福祉の取り組みはご本人の意見を聞かずに進めてきたことが多いなか、どのような暮らしを望まれているのかを伺い、見えてくるものを大切にこれからの地域づくりにつなげることを目的としています。

「だれもが安心して暮らせる地域について考える、みんなで話そう。これからできること。」をテーマに、愛別町在住の方2名と1団体(愛別町特別支援教育を支援する会じよいふる)のみなさんから地域で暮らして感じていることが、これからの思いや希望することについて報告いただいた後、グループに分かれテーマとなっている「これからできること」について話をしました。

当日は、住民や関係機関等からの参加があり、アンケートでは「みんなで支え合っているようになれば」と願います。「研修会を続けてほしい」「もう少し話を聞きたかった」などのご意見・ご感想をいただきました。今回の研修会に参加された方だけではなく、だれもが安心して暮らせる地域づくりのために、みなさまからのご意見を寄せていただければと思います。

上川中部基幹相談支援センター
 当麻町3条東2丁目11番1号
 (当麻町役場内)
 電話 84-7111
 FAX 84-7333
 虐待防止センター専用電話 84-7222 (24時間対応)

きたよん通信

求人募集

町内事業所の求人募集情報をお知らせします。
 求人募集情報は町図書館玄関、農村環境改善センターロビー、比布駅で掲示しています。

- 上川農業試験場
 南1線5号 ☎85-2200
 □研究補助員・臨時農業技能員
 内容/研究補助員 ほ場作業、分析、データ入力など
 農業技能員 農作業全般
 勤務/平日8:45~17:30(土日祝日休み)
 期間/研究補助員 平成30年5月~12月の8ヶ月
 農業技能員 平成30年4月~11月の8ヶ月
 日給/6,790円程度
- 高齢者事業団
 中町1丁目1-15 ☎85-2050
 □会員
 内容/清掃業務、農作業、運転業務
 場所/町内
 勤務/8:00~17:00
 資格/おおむね60歳以上
 時給/業務によって異なります。
- 株式会社 LEOC
 旭川市9条通15丁目北商ビル3階
 ☎21-3616
 □調理スタッフ
 内容/食事の調理、提供など
 勤務/6:00~15:00、9:45~18:45、7:30~16:30(シフト制)
 勤務先/ぴっぷクリニック内厨房
 (中町1丁目2-10)
 時給/850円
- JAぴっぷ町ホクレン比布SS
 基線5号 ☎85-3113
 □ガソリンスタンドスタッフ
 内容/接客、給油監視、軽整備など
 勤務/夏7:00~20:00、冬8:00~20:00 3交代シフト制(実働8時間)
 資格/要普通自動車免許
 危険物取扱者免許(丙種以上)優遇
 時給/810円~(経験等考慮)
- 町立ぴっぷクリニック
 中町1丁目2-10 ☎85-2222
 □事務員
 内容/受付、電話対応、会計など
 給与/基本給15万~18万円
 □看護師・准看護師
 内容/医師の診察補助など
 勤務/シフト制
 資格/看護師・准看護師資格
 給与/看護師21万~31万円
 准看護師18万~26万円
- 看護助手
 内容/医師・看護師の看護補助など
 勤務/8:30~17:15
 木・土は8:30~12:30
 資格/介護職初任者研修修了者が望ましい
 給与/13万~16万円
- 清掃員
 内容/院内各所清掃
 勤務/7:00~11:30
 時給/850円
- 株式会社 コタニ工業
 基線4号 ☎54-1555
 □事務員
 内容/一般事務
 勤務/平日9:00~15:00(土日祝日休み)
 応募資格/事務経験者、PCの使える方
 時給/810円
- 鉄骨建築作業員
 内容/鉄骨建築、ガレージ等制作組立
 勤務/8:00~17:30
 資格/普通自動車免許
 給与/18万~35万円
- ガレージ・カーポートの営業
 内容/ガレージ見積、作業管理
 勤務/8:00~17:30
 資格/普通自動車免許
 給与/20万~38万円
- 有限会社 遠藤農産
 北1線8号 ☎85-2193
 □パート
 内容/きのこのパック、箱詰めなど
 勤務/8:00~12:00、8:00~15:00
 勤務先/遠藤農産工場内
 時給/810円~
- 求人のある事業所は、役場産業振興課商工労働係にご連絡を。掲示板・広報紙・町ホームページで求人募集をお手伝いします。
 ☎85-4806



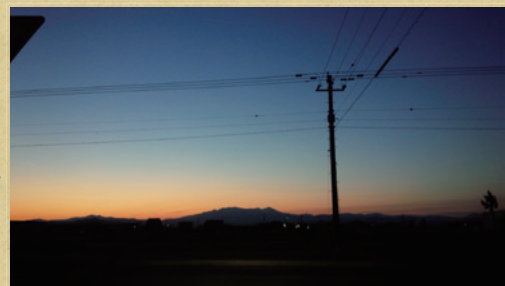


優秀賞 「憩い」
佐藤 直一



グランプリ 「秋朝」
太田 富士江

スマホ部門



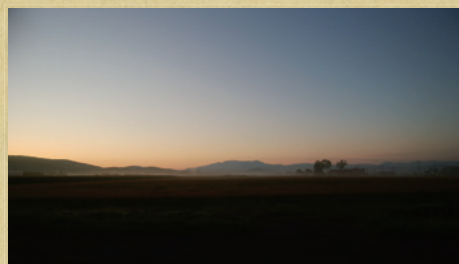
特別賞 「夜明け」
樋口 サユリ



優秀賞 「冬至の朝焼け」
すぎやま じゅん



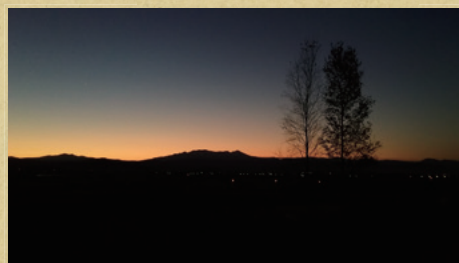
入選 「残雪2」
上西 達彦



入選 「大雪山の目覚め」
野内 武



入選 「収穫後の夕焼け」
伊東 由香里



入選 「夜明け前の静寂」
小野 高秀



入選 「初夏の大雪山2017」
山口 亜沙美

世界一
大雪山が
きれいに見えるまち

比布町

昨年開催された「大雪山フォトグランプリ」。全国各地のフォトグラファーから、素晴らしい写真が送られてきました。作品総数63点。今回、カメラ部門とスマホ部門の入賞作品をご紹介します。(敬称略)

ぴっぷ町で
世界一の
風景を
撮って応募
しよう。

大雪山
フォトグランプリ



入賞作品発表!

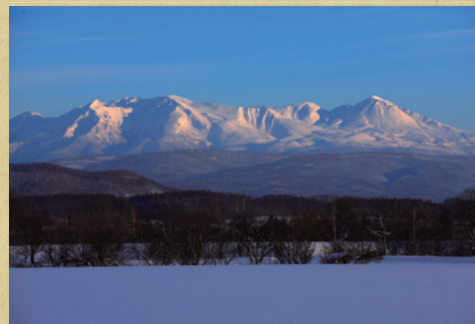


グランプリ 「収穫の頃」
青山 博則



優秀賞 「モニュメントの向こう側」
桧枝 広美

カメラ部門



特別賞 「冬の大雪山」
高野 正行



入選 「晩秋の山並み」
小野 希望



入選 「初雪に収穫のテンポ上げ」
佐藤 直一



入選 「冬初め」
長南 光浩



入選 「黄昏のいちご橋」
松木 貢



入選 「郷と育む大雪山」
土橋 平哉

ヒーロー みんなが ヒロイン HEROINE

※○内の数字は順位(敬称略)
町内関係者のみ

◆3月室内パークゴルフ大会
(3月8日・大雪山フラワーパーク)
【男性】①田中修②吉田忠雄
③橋昭【女性】①尾崎誠子②
野口弘子③大河弘子

◆町民バドミントン大会
(3月11日・町体育館)

【ダブルス】▽前半戦A①有岡修治②吉本宏大▽前半戦B①菊池佳澄▽前半戦C①中阜乃・有岡紗希②太田とみ③奥野聖奈・有岡晴美▽後半戦A①有岡修治②菊池佳澄▽後半戦B②中阜乃③有岡晴美▽後半戦C①内沢義治②太田とみ③奥野聖奈・有岡紗希

◆平成29年度町民剣道大会
(3月14日・青少年会館)

【団体戦】①堺彪真・宮田葉

このコーナーでは、スポーツや文化活動などの話題を紹介します。みなさんからの情報をお待ちしています。新聞などに掲載された情報も掲載しています。

菜・寒河江朔丸・荒木麗仁・寒河江思子・久保田夏生・久保田颯・木村和真
【個人】▽剣道連盟会長賞 久保田夏生▽指導部長賞 山地蓮
▽育成会長賞 漆戸駿



◆全町シングルス卓球大会
(3月18日・町体育館)

【男子】①山田蓮(小学生)②進藤丈人(一般)③阪本崇哉(中学生)、松岡賢太郎(中学生)【女子】①三浦鈴花(中学生)②浅野亜純(中学生)③中田小百合(中学生)、細貝彩羽(中学生)

◆第49回町民スキー大会
(3月21日・びつぶスキー場ほか)

【チャレンジ継走競技】①チ

ム中央小学校(橋内幸希・丸谷一颯・橋内陽生)②チーム136(植村勇・小菅生竜夫・宮武秀夫)③歩くスキー同好会Bチーム(宮木功・藤本實・五十嵐義秋)

【大回転競技・スキー】▽小学校低学年女子①橋内美心②前原芽依▽小学校低学年男子①勝見洗太②前原亘③野内海成▽小学校高学年女子①小菅生莉子②北山心愛③菅野雛音▽小学校高学年男子①勝見颯斗②北川悠太郎③橋内陽生▽中学生男子①牧亮汰▽一般男子A①新井遼②定岡伸之③廣瀬幸寛▽一般女子B①小菅生恭子▽一般男子B①太田将史②前原透▽一般男子C①牧亮男②金子敏夫③宮武秀夫【大回転競技・スノーボード】▽小学生女子①平尾紅葉▽小学生男子①橋内陽生②城彪琉③井上晴斗▽一般女子①平尾英里②平野菜摘▽一般男子①福地正嗣②野内武③土屋秀和【大回転競技・スノースケート】①福地正嗣②浅野仁志③村上博昭

【ペアスキー競技】①伊東祥希・伊東義雅②宮田清治・浅野仁志③村上祐基・村上博昭

2.27 農業が変わる?
上川農試新技術発表会



▼上川農試の研究成果が発表され、寒い地域でも使えるハウス栽培の方法や、苗づくりが不要な直播米の改良などが説明されました。

3.6 男たちの新たな戦い、それは料理!
男子厨房に入ろう会、略して「だんちゅう」。これまであまり料理をしたことのない男性たちが、一緒に料理にチャレンジします。



▼男子厨房に入ろう会、略して「だんちゅう」。これまであまり料理をしたことのない男性たちが、一緒に料理にチャレンジします。

3.2 20歳の自分へ、伝えるメッセージ
中央小学校6年生が未来の自分にメッセージを書きました。同じく比布中学校3年生も8日にビデオメッセージを作成しました。



3.19 比布町の文化人たちが大集合
比布町文化連盟の芸能発表と作品展示会が開催。素晴らしい演舞が行われたほか、芸術性の高い作品がたくさん展示されました。



3.20 ファイターズ後援会、ただいま準備中です
ファイターズ応援大使の決定を受けて、比布町の後援会を準備中です。まずは準備集会を実施。たくさんファンが集まりました。



▼ファイターズ応援大使の決定を受けて、比布町の後援会を準備中です。まずは準備集会を実施。たくさんファンが集まりました。

3.21 滑れ!走れ!
大接戦町民スキー大会
快晴の春分の日。老若男女みんなでスキー!速いだけが勝負じゃない。雪にまみれて笑顔あふれて、楽しく滑ればみんなハッピー!



町職員の新規採用

4月1日付けで採用された新規採用職員と、3月31日付で退職された職員を紹介します。
なお、人事異動については、行政機構図を今月号の広報紙に折り込んでいますのでご覧ください。
本年度も町政にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

よろしくお願ひします

新規採用職員(4月1日付)



たかだ あつし
主事 高田 敦志
総務企画課
庶務係兼財務係



あつぎ ゆうや
主事 厚木 祐哉
教育委員会生涯学習課
社会教育係兼図書館係



なかむら あゆみ
保健師 中村 歩
保健福祉課
保健係



さとう しんぺい
主事 佐藤 新悟
建設課
上下水道係兼土木係

町職員の退職

お世話になりました

退職職員(3月31日付)



ささき たかひろ
佐々木 裕
(税務住民課課長補佐)



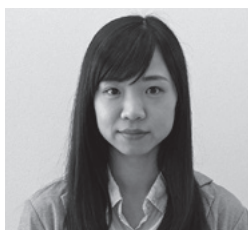
みやたけ しゅうじ
宮武 秀夫
(会計管理者兼総務企画課長)



いわもと なおこ
阪本 早苗
(保健福祉課課長補佐)



おつか ともひこ
大川 智
(議会事務局長)



きしだ ふみこ
岸田 史子
(保健福祉課保健係)



～ ICHIGOKKO MEMORIES ～

3月14日に中学校で、3月16日に小学校で、それぞれ卒業式が行われました。



-Congratulations on your graduation-

広報びっぴ 4月号 No.715
2018(平成30)年4月4日

- 発行 比布町
- 編集 総務企画課まちづくり推進室広報係
〒078-0392
北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号
☎0166-85-2111(代表)
0166-85-4801・4802(総務企画課直通)
- ホームページ
<http://www.town.pippu.hokkaido.jp>
- Eメール
ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



■ ICHIGOKKO MEMORIES ■

春寒の候、3月中旬。中央小学校と、比布中学校でそれぞれ卒業式が行われました。学校生活で経験したたくさんのできごとが、素晴らしい思い出として心に刻まれたことでしょうか。比布で育ったこと、比布で作上げた仲間との絆、反発し、ぶつかり合ったことでさえ、今ではどれもがかけがえの無い思い出。そんな思いがあふれ出る瞬間を写真に収め、ここに掲載します。みなさん、ご卒業おめでとうございます。